

全工程水性仕様！防水と屋根に対応でき、汚れ付着や変色リスクを低減

ハイブリッド型アクリルエポキシ樹脂プライマー アトム水性ブリード防止プライマー

■ こんなときに役立つ！4つの特長

1 防水または屋根の塗り替えてブリード対策をしたいとき

瀝青質屋根用塗料の塗り替えて起こりやすいタールによる黄変や可塑剤を含んだ防水材の塗り替えて起こるべたつきによる汚れの付着を抑えられる。

2 環境や人に配慮した材料を使いたいとき

全工程水性仕様を実現！施工中の臭気や VOC など環境への影響を小さくできる。溶剤型ブリード防止プライマーに匹敵する性能があり安心して選べる。

3 下地の判断がつかないとき

防水：塩ビシート*かゴムシートか
屋根：瀝青質塗料の非架橋型*か架橋型か
いずれにも対応できるため、どちらか判断つかないときも塗装できる。

*ブリード発生のリスクあり

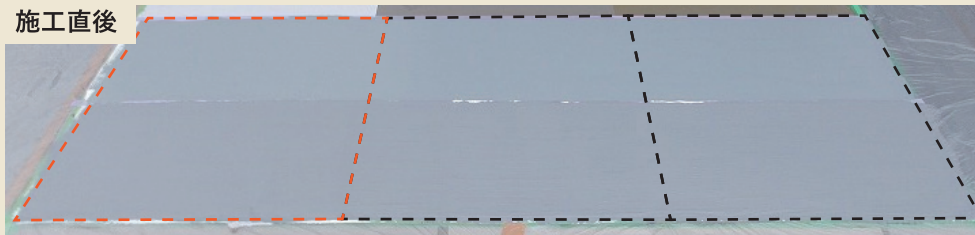
4 瀝青質屋根用塗料や可塑剤を含んだ防水材を塗り替えたいとき

従来は同じ系統の材料しか塗り替えられなかったが、下記の水性塗料で塗り替え可能に。
防水：アトレヌ水性防水材
屋根：アクアルーフ

耐汚染性試験

屋上防水の想定でプライマー3種類の塗り分けを行い、屋外で曝露試験を実施。

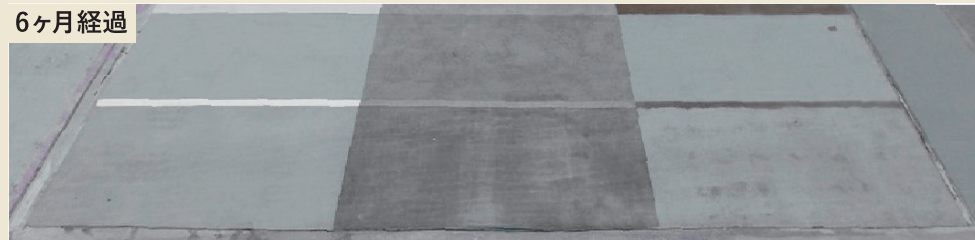
施工直後



アトム水性ブリード防止プライマー プライマーなし 溶剤型ブリード防止プライマー

アトム水性ブリード防止プライマーはブリードによる黒ずんだ汚れが付着していない。

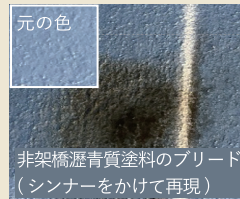
6ヶ月経過



アトム水性ブリード防止プライマー プライマーなし 溶剤型ブリード防止プライマー

ブリードとは

経年で可塑剤が表面に染み上がって、汚れ付着の原因になるべたつきや、黄味が浮いて変色が発生する現象。



元の色 非架橋瀝青質塗料のブリード (シンナーをかけて再現)

可塑剤は塩化ビニル樹脂を中心としたプラスチックを軟らかくするために使われる化合物である。

■ 製品荷姿／塗り面積／配合比

アトム水性ブリード防止プライマー	冬用添加剤	塗り面積
14kg セット (主剤 7kg/ 半缶、硬化剤 7kg/ 石油缶)	420g/0.5L 角缶	70 ~ 93m ²
3kg セット (主剤 1.5kg/4L 角缶、硬化剤 1.5kg/ 丸缶)	90g/ アルミパウチ	15 ~ 20m ²

アトム水性ブリード防止プライマー
配合比 主剤：硬化剤 = 1:1

※低温時はセットに対して 3% (重量比) の冬用添加剤を使用してください。

アトム水性ブリード防止プライマー		冬用添加剤	
14kg セット	3kg セット	420g	90g

用途

防水および屋根の塗り替え用ブリード対策プライマー
防水：塩ビシート、加硫ゴムシート、ウレタン塗膜防水
屋根：瀝青質塗料（架橋型および非架橋型）

上塗り適合材料

アトレーヌ水性防水材
アクアルーフ

施工仕様

防水〈アトレーヌ水性防水材仕様例〉

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	塗装間隔 (時間/5°C)*
下地処理	施工仕様書をご参照ください。					
下塗り	アトム水性ブリード防止プライマー	無希釈	-	0.15 ~ 0.20	3 以上	16 以上
中塗り①	アトレーヌ水性防水材	無希釈	-	0.15 ~ 0.20	1 以上	2 以上
中塗り②	アトレーヌ水性防水材	無希釈	-	0.35 ~ 0.45	2 以上	18 以上
中塗り③	アトレーヌ水性防水材	無希釈	-	0.35 ~ 0.45	2 以上	24 以上
上塗り	アトレーヌ水性トップ SG	無希釈	-	0.15 ~ 0.20	-	-

屋根〈アクアルーフ仕様例〉

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	塗装間隔 (時間/5°C)*
下地処理	施工仕様書をご参照ください。					
下塗り	アトム水性ブリード防止プライマー	無希釈	-	0.15 ~ 0.20	3 以上	16 以上
中塗り①	アクアルーフ	無希釈	-	0.25	3 以上	4 以上
中塗り②	アクアルーフ	無希釈	-	0.25	3 以上	16 以上
上塗り	アクアルーフトップ	無希釈	-	0.15	-	-

* 冬用添加剤使用

- (1) 塗装間隔は、塗装時の気温、温度、風の有無等で変化します。
- (2) 詳細については、施工仕様書をご参照ください。

可使用時間

可使時間 (5 ~ 10°C) 冬用添加剤使用	可使時間 (23°C)
2 時間	5 時間

注意事項

- (1) 高温時は塗膜の表面乾燥が速くなるため、塗布量が多くなります。高温時の撒き塗りは避けてください。
- (2) 塗布量が少ないとブリード防止の効果が不十分になるため、塗布量は厳守してください。
- (3) 非架橋型瀝青質塗料への塗り替えの場合、付着試験（クロスカット法）を行うと非架橋型瀝青質塗料の凝集破壊により剥離することがあります。
- (4) 硬化剤にはアンモニアが配合されており刺激臭がするため、取扱いはご注意ください。
- (5) 直射日光に晒される場所や、常時高温の場所、炎天下での保管は、可使時間等に悪影響を及ぼすので避けてください。
- (6) 混合比（重量比）が正しくないと塗膜性能が充分に発揮できません。全量使い切る場合は缶の天板を開缶して、中身をかき出してご使用ください。
- (7) 塗装前に必ず下地の種類を確認してください。

全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項および SDS（安全データシート）・施工仕様書をお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、製品の中身・仕様、販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。また、使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

■本 社	〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL.03-3969-3111(代表)	FAX.03-3968-7300
■加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1154	FAX.0480-65-6909
■大 阪 支 店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22	TEL.072-872-3111	FAX.072-872-1222
■仙 台 営 業 所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL.022-249-7371	FAX.022-249-7372
■新 潟 営 業 所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL.025-244-8011	FAX.025-244-8012
■横 浜 営 業 所	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-11ユニオンビル5F A室	TEL.045-287-8911	FAX.045-287-8912
■名 古 屋 営 業 所	〒462-0844 名古屋市中区清水5-5-3 名北フロントビル303	TEL.052-914-3900	FAX.052-916-0892
■広 島 営 業 所	〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL.082-845-2202	FAX.082-845-2203
■福 岡 営 業 所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL.092-503-5200	FAX.092-503-5308
■加 須 工 場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1159	FAX.0480-65-7146